

消防協力者に対する感謝状贈呈式を実施しました

令和7年3月10日（月）、多賀城消防署において消防協力者に対し感謝状贈呈式が行われました。

昨年12月末、多賀城市内の事業所において同僚が突然意識を失い、呼びかけ反応及び呼吸もない状態となり、消防協力者は事務員に119番通報及びAEDの搬送を手配。AED装着、除細動（電気ショック）、胸骨圧迫を実施後、心拍が再開し救急隊到着前には意識を取り戻し会話が可能となったものであります。

迅速・的確な救命活動に対し、多賀城消防署長から感謝状を贈呈しました。

消防協力者は、多賀城市在住の会社員で多賀城市消防団第1分団副分団長でもあります^{おおだちめ}大立目

^{たける}猛さん(52歳)です。大立目さんは、昨年7月に多賀城市消防団の事業で普通救命講習を受講していたこともあり、講習で習った手順どおりに対応したとのこと。大立目さんは当時を振り返り、「助かってほしいという思いで必死でした。一生に一度の出来事だと思う。同僚が元気になったことがうれしい。」と話されておりました。

今回のケースは事業所がAEDを設置していた救命意識の高さや、普通救命講習を受講していた従業員である大立目さんがその場に居合わせたことなどが功を奏し、尊い命を救っていただきました。

救命活動は1分1秒の迅速な対応が求められます。今後も更なる普通救命講習等を通じ、地域の皆様とともに救命率の向上に努めてまいります。



お問い合わせ先
多賀城消防署
総務係 ☎022-355-9704